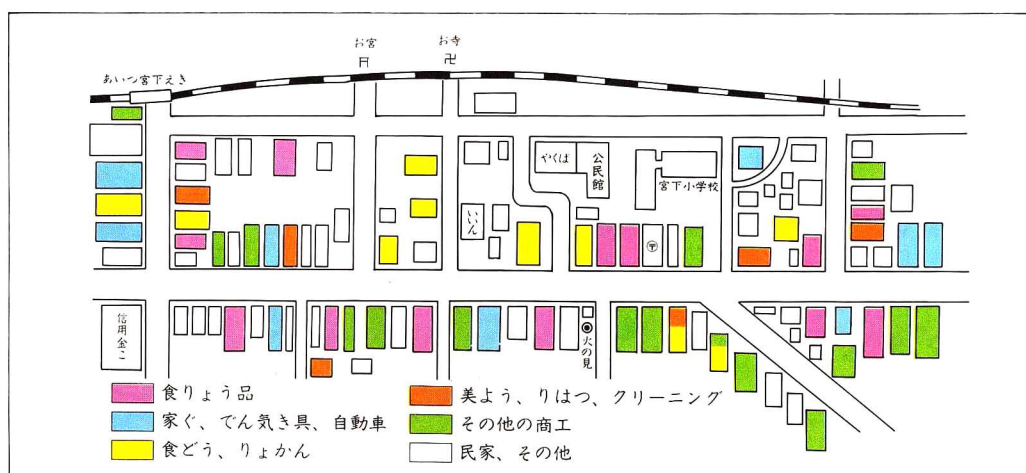


などがあります。このように宮下の商店がい、人びどがあつまるところにでき、いろいろな用がたせるようになっていきます。

宮下の商店がい



《商店の人の話》

わたしの店は、魚・野さい・くだもの・おかしなどの食べ物と、日用ざっか品を売っています。

お客さんは、日に100人くらいで町の人がほとんどですが、金山町や柳津町からもきます。

仕入れは、会津若松市からが多く、郡山市からもします。はたらいっている人は5人で、しなものをならべたり、はいたつをしたりいそがしくはたらいっています。毎日売りだしのせんでんをしたり、特売日をつくったりしてお客さんをよびます。